

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道50号 <small>さくらがわらくせい</small> 桜川 筑西 I C 関連（延伸） <small>かんれん</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局																									
起終点	自： <small>いはらきけんさくらがわしおさかた</small> 茨城県桜川市長方 至： <small>いはらきけんさくらがわしなかいづみ</small> 茨城県桜川市中泉	延長	1.2km																											
事業概要																														
<p>一般国道50号は、群馬県高崎市から茨城県水戸市に至る延長約150kmの首都圏北部の主要幹線道路である。桜川筑西 I C 関連（延伸）は、交通渋滞の緩和、安全性の向上及び高速道路への利便性向上を目的とした延長1.2kmの現道拡幅事業である。</p>																														
H21年度事業化		H17年度都市計画決定		H23年度用地着手																										
H 一年度工事着手																														
全体事業費	約20億円	事業進捗率	24%	供用済延長	0.0km																									
計画交通量	25,200台/日																													
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2.3</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">3.1</td> </tr> </table>	B/C	2.3	(事業全体)		(残事業)	3.1	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">15/ 21億円</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">12/ 18億円</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">2.8/ 2.8億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)		15/ 21億円	(事業費)	12/ 18億円	(維持管理費)	2.8/ 2.8億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">47/ 47億円</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">44/ 44億円</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">2.1/ 2.1億円</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">0.57/ 0.57億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体)		47/ 47億円	(走行時間短縮便益)	44/ 44億円	(走行経費減少便益)	2.1/ 2.1億円	(交通事故減少便益)	0.57/ 0.57億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">基準年</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">平成28年</td> </tr> </table>	基準年	平成28年
B/C	2.3																													
(事業全体)																														
(残事業)	3.1																													
総費用	(残事業)/ (事業全体)																													
	15/ 21億円																													
(事業費)	12/ 18億円																													
(維持管理費)	2.8/ 2.8億円																													
総便益	(残事業)/ (事業全体)																													
	47/ 47億円																													
(走行時間短縮便益)	44/ 44億円																													
(走行経費減少便益)	2.1/ 2.1億円																													
(交通事故減少便益)	0.57/ 0.57億円																													
基準年	平成28年																													
感度分析の結果																														
<p>【事業全体】 交通量：B/C=2.0~2.6（交通量 ±10%） 【残事業費】 交通量：B/C=2.7~3.5（交通量 ±10%）          事業費：B/C=2.2~2.4（事業費 ±10%） 事業費：B/C=2.9~3.4（事業費 ±10%）          事業期間：B/C=2.2~2.4（事業期間 ±20%） 事業期間：B/C=3.0~3.2（事業期間 ±20%）</p>																														
事業の効果等																														
<p>①交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の損失時間は44.0千人時間/年・km。</li> <li>・桜川筑西 I C 関連（延伸）の4車線化により、桜川筑西IC周辺の交通の円滑化が図られ、渋滞緩和が見込まれる。</li> </ul> <p>②安全安全な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の死傷事故率は52.8件/億台・km。</li> <li>・事故類型は追突による事故が多く、全体の8割を占める。</li> <li>・桜川筑西 I C 関連（延伸）の4車線化により、主要渋滞箇所の解消が図られ、交通事故の減少が見込まれる。</li> </ul> <p>③高速道路への利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川筑西 I C 関連（延伸）沿道は、高速道路への利便性を活かした桜川市による開発計画が進行しており、工業団地や商業施設が立地。</li> <li>・筑西・桜川地域の医療を支えるさくらがわ地域医療センターの建設が決定。</li> <li>・桜川筑西 I C 関連（延伸）の整備により、企業の立地が促進するなど、新たな雇用創出の貢献や地域医療の支援が期待されている。</li> </ul>																														
関係する地方公共団体等の意見																														
<p>・茨城県知事の意見：          一般国道50号桜川筑西 I C 関連（延伸）は、現道拡幅により交通渋滞の緩和、安全性の確保及び北関東自動車道桜川筑西ICへのアクセス向上が図られるとともに、工業・商業施設の立地及び医療施設の建設などが進む沿道開発のさらなる活性化に大きく寄与するものと期待されることから、事業を継続し、より一層のコスト縮減を図りながら早期完成に向けて事業を推進されたい。</p>																														
事業評価監視委員会の意見																														
<p>事業の継続を承認する。</p>																														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																														
<p>平成23年3月に北関東自動車道が全線開通。          平成28年3月に大和駅北地区にさくらがわ地域医療センターの建設が決定。</p>																														

**事業の進捗状況、残事業の内容等**

平成21年度に事業化、用地進捗率61%、事業進捗率24%（平成28年3月末時点）  
 平成21年度の事業化以降、平成23年度から用地着手、平成30年度から工事着手予定。

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**

拡幅に必要な用地については、平成30年度の事業完了を目指すため、平成26年度から工事着手を予定していたが、一部の地権者の理解が得られず用地取得が難航、事業延長1.2kmの短区間に、用地取得難航箇所が点在しているため、工事着手が遅延。以上より、事業期間を平成30年度から平成33年度に変更。

**施設の構造や工法の変更等**

新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

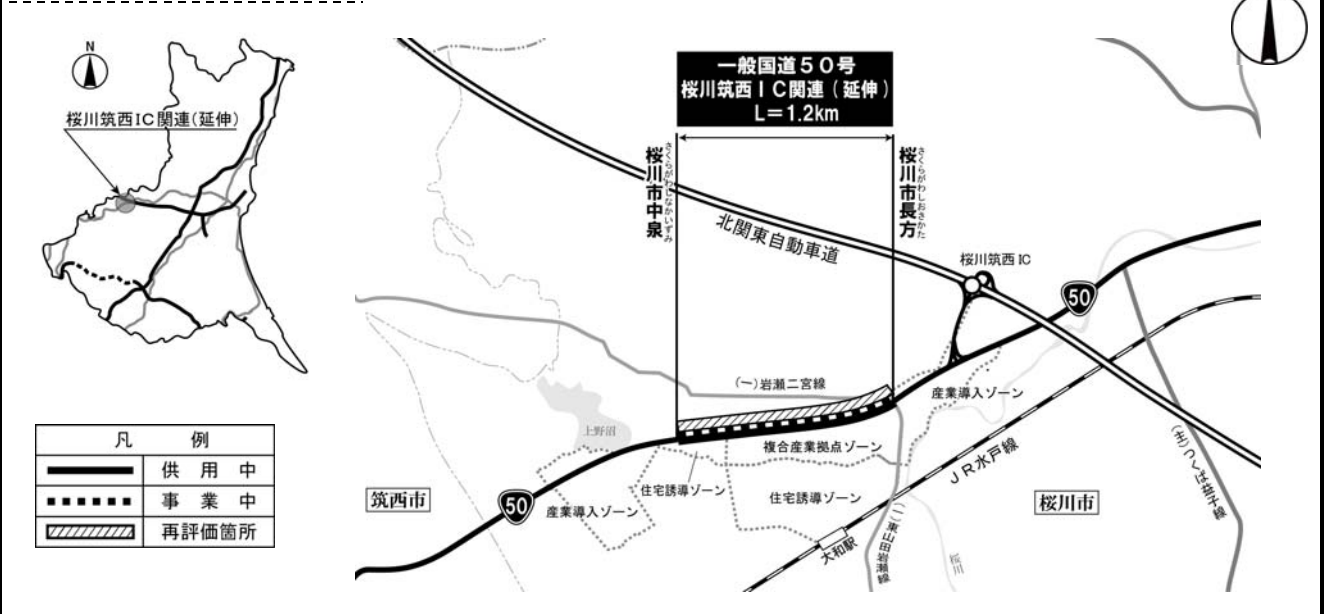
**対応方針**

事業継続

**対応方針決定の理由**

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、本事業は、交通渋滞緩和および安全性向上、高速道路への利便性向上の観点から、事業の必要性、重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。

**事業概要図**



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。